

## 議案

### 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

#### <協議理由>

地域内フィーダー系統確保維持計画により認定されたバス路線は、事業完了後に事業評価を行い、その結果について地方運輸局長に報告する必要があります。

つきましては、別紙の事業評価(案)を審議いただきますようお願いいたします。

※根拠法令：地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱第3条第5項

#### <事業評価の目的>

事業評価は平成29年度(平成28年10月から平成29年9月)事業の実施状況の確認や目標達成状況等の評価を行い、必要に応じて改善措置を行うことで路線バスの運行をより効果的、効率的に推進することを目的に実施しております。

#### 【地域内フィーダー系統確保維持計画】

地域公共交通確保維持事業の支援を受けるために、国土交通省に対象路線として認定していただくための計画をいう。

#### 【対象路線】

##### 市外連絡路線

エーガイヤ線

##### 市内完結路線

戸原線、城下線、河原田線、下三方線、公文線、小原溝谷線、千町線、黒原線、谷今市線、水谷線、飯見線、鷹巣線、奥西山線、七野線、内海線



## 宍粟市地域公共交通会議

### 1. 協議会が目指す地域公共交通の将来像

#### 公共交通の将来像

##### ○地域特性

本市は、兵庫県中西部に位置し、京阪神と中国地方を結ぶ中国自動車道と、山陽と山陰を結ぶ国道 29 号が交差する交通の要衝となっている。南北約 42km、東西約 32km、面積は、兵庫県土の 7.8%を占める 658.54 ㎥で、淡路島より広く、その約 90%が山地である。本市には鉄軌道がなく、幹線軸を形成している大型バス（市外連絡路線）と、それを補完する形で小型バス（市内完結路線）を運行している。

##### ○計画の基本方針

###### みんなで守り育てる公共交通

市民が住んでいる地域でいつまでも安心して暮らしていけるよう、高齢者で元気な方が利用できるよう、また、環境の保護も含め、通勤通学者の移動手段として利用できるよう、さらに市外からの観光の移動手段としても利用できるよう公共交通の充実を図る。

##### ○計画の目標

市外連絡路線…平均乗車密度 2 人以上の利用者数

市内完結路線…1 便あたりの利用者数 1.5 人以上の利用者数

##### ○公共交通の将来像

###### 地域の将来像における位置づけ

生活圏の機能を維持し人口流出を抑制するため、公共交通のネットワーク化の充実を図る。

###### 公共交通の機能分類とサービス水準等の設定

市外連絡路線…主要道路を通る町域を結ぶ路線で、通勤や通学、観光など広域的な移動に対応する主要路線として運行する。（毎日）

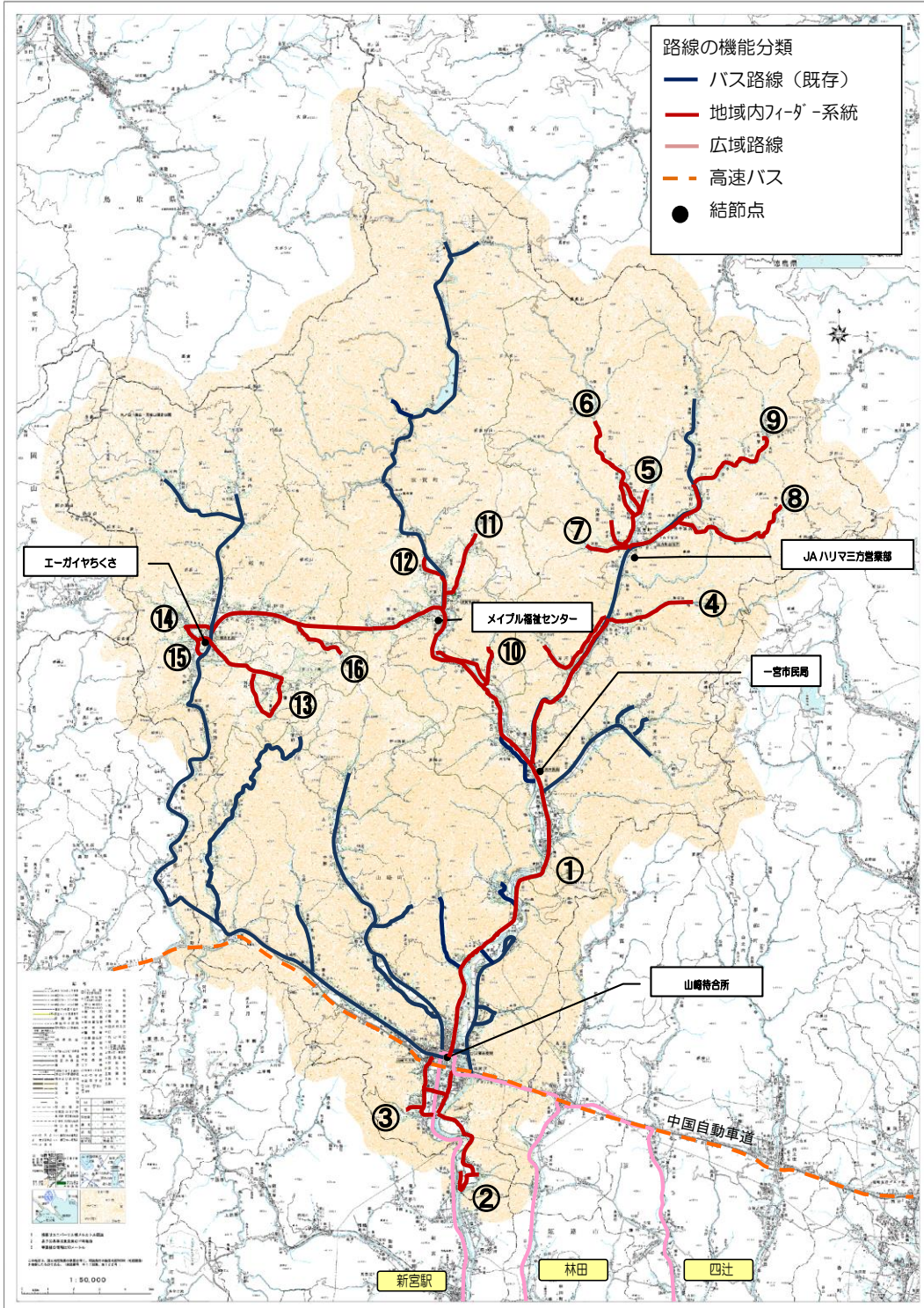
市内完結路線…各地域と市外連絡路線を結ぶ路線で、通院や買い物など日常生活を支える路線として運行する。（週 1 日～5 日、3～5 便/日）

###### 公共交通網見直しの方向性

平成 27 年 11 月の再編から 3 年後に路線評価を行い、基準を満たさない路線については路線のあり方を検討する。

# 公共交通ネットワーク図

## 地域内フィーダーシステムの配置イメージ



## 2. 計画の達成状況の評価に関する事項

### 評価の基本的な考え方

路線ごとに利用状況の実績で見直し基準により路線評価を実施する（毎年）

### 評価基準（見直し基準）

市外連絡路線…平均乗車密度 2 人以上の利用者数

市内完結路線…1 便あたりの利用者数 1.5 人以上の利用者数

## 3. 目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容

### (1) 取組経緯

平成 27 年 11 月より、市民の日常生活の利便性の向上を目的として、公共交通空白地の解消のために小型車両（市内完結路線）を導入し路線バスの運行を開始した。

### 協議会の開催状況

平成 28 年度は、平成 27 年度の利用状況の検証結果などから、利便性向上のための運行の見直しや利用促進の取組みについて 2 回会議を開催した。

### 会議の内容

- ・利便性の向上…路線やダイヤの見直し
- ・利用促進…①バス利用推進員（87 名）によるバスに乗る意識醸成の取組み  
②幼稚園・保育所を対象としたモビリティマネジメントの実施  
③観光施設での割引等特典付きの 1 日乗車券を作成

### (2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等

#### 補助対象事業

地域公共交通確保維持改善事業				
事業	実施主体	着手・実施期間	種別	事業概要
地域内フィーダー系統補助事業	ウエスト神姫	H28. 10. 1～ H29. 9. 30	フ	市外連絡路線
地域内フィーダー系統補助事業	ウエスト神姫	H28. 10. 1～ H29. 9. 30	フ	市内完結路線

【種別】 幹：地域間幹線系統、フ：地域内フィーダー系統、策：計画策定事業、推：計画推進事業  
再策：再編計画策定事業、再推：再編計画推進事業

その他補助事業			
事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要
		該当無し	

#### 非補助事業

事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要
		該当無し	

#### 4. 具体的取組に対する評価

##### 地域内フィーダー系統確保維持計画に掲げられた目標値の達成状況

市外連絡路線は、平成 29 年度は平均乗車密度 3.4 人で目標を上回った。乗車券価格の改定の影響により、昨年度より平均乗車密度は 1.1 人減少しているものの利用者数は増加している。目標値は上回っているものの、今後は人口減少に伴い利用者数も減少していくことが考えられるため、現状の数値が維持できるよう引き続き利用促進や利便性の向上を図っていく。

市内完結路線は、全 15 路線中 2 路線のみ目標を上回った。目標を下回った路線は、これまで公共交通の空白地であったことからバスに乗る習慣づけが必要と考える。

利用が多い路線については増便を検討し、更なる利便性の向上を図る。

交通弱者の日常生活の移動手段の確保のため、将来的に維持できるネットワークの構築を図っていく。

#### 5. 自己評価から得られた課題と対応方針

課題	課題への対応方針
利用が少ない路線は、これまで路線バスが運行していない地域で、バスに乗る機会が少なかったことが原因と考える。	引き続き利用促進に取り組み、移動手段として路線バスの選択肢の意識付けを行う。
限られた便数で運行しているフィーダー系統路線は、幹線系統への乗継に時間を要する場合がある。	地域や利用者利用者の意見に基づき、ダイヤ改正等を実施し利便性の向上を図る。

## 宍粟市地域公共交通会議

### 1. 昨年まで（直近）の二次評価の活用・対応状況

昨年まで（直近）の二次評価における事業評価結果	事業評価結果の反映状況（具体的対応内容）	今後の対応方針
事業実施の適切性について自己評価どおり評価できる。目標・効果の達成状況についても大幅に目標を超えている。次年度については、より高い目標に向かって取組みを進めていただきたい。	持続可能な公共交通となるよう、利用者数の維持のために利用促進及び利便性の向上を図った。	持続可能な公共交通となるようさらなる利用促進と利用者の意見に基づく改善に取り組む。
市内路線の再編を行うなどし、事業実施の適切性について自己評価どおり評価できる。目標効果の達成状況については、目標に対して下回っており現在の目標を達成するには、より一層の利用促進等が必要と思われる。そのためにも、利用者の意見を聞くなどし、利便性向上に努められたい。	持続可能な公共交通となるよう、利用者数の維持のために利用促進及び利便性の向上を図った。	利用が少ない路線は、これまで路線バスが運行していない地域で、バスに乗る機会が少なかったことが原因と考える。さらなる利用促進と利用者の意見に基づく改善に取り組む。

### 2. アピールポイント、特に工夫した点など

- ・路線やダイヤを見直し利便性の向上を図った。
- ・バス利用推進員（87名）によるバスに乗る意識醸成の取組みを実施した。
- ・自治会で回数券を購入し配布されるなど、地域独自でバスを守る取組が実施された。
- ・幼稚園・保育所を対象としたモビリティマネジメントを実施した。
- ・観光施設での割引等特典付きの1日乗車券を作成した。